

令和 2 年定例会
予算決算常任委員会防災県土整備企業分科会
提 出 資 料

○ 議案補充説明

- I 令和 2 年度当初予算について 1
- ・ 議案第15号「令和 2 年度三重県水道事業会計予算」
 - ・ 議案第16号「令和 2 年度三重県工業用水道事業会計予算」
 - ・ 議案第17号「令和 2 年度三重県電気事業会計予算」
- II 令和元年度最終補正予算について 6
- ・ 議案第85号「令和元年度三重県水道事業会計補正予算（第4号）」
 - ・ 議案第86号「令和元年度三重県工業用水道事業会計補正予算（第3号）」
 - ・ 議案第87号「令和元年度三重県電気事業会計補正予算（第3号）」
- III 「三重県水道供給条例の一部を改正する条例案」について . . 1 2
- ・ 議案第56号「三重県水道供給条例の一部を改正する条例案」

令和 2 年 3 月 1 2 日
企 業 庁

I 令和2年度当初予算について

1 予算編成にあたっての基本的な考え方

企業庁においては、三重県企業庁経営計画（以下「経営計画」という。）に掲げた「県民の日常生活や経済活動に欠くことのできない広域的なサービスを提供することで、県民のくらしの安全・安心の確保や地域経済の発展に貢献する」という経営理念の実現に向けて事業運営を行っています。

令和2年度当初予算については、経営計画の取組を的確に進めていくことを基本におき、水道・工業用水道事業では、将来、発生が予想される南海トラフ地震などの大規模地震に備え、より一層、耐震化を進めるとともに、設備の老朽化対策等を着実に実施します。

電気事業では、引き続き、関係市町等と連携し、RDF焼却・発電事業の円滑な終了に向けて取り組むとともに、RDF焼却・発電施設の撤去等の取組を進めていきます。

2 主な重点項目

(1) 強靱な水道及び工業用水道の構築

予算額 12,350,989千円

大規模地震などによる被災を最小限にとどめられるよう、施設の耐震化をより一層進めます。また、将来にわたり水道用水及び工業用水を安定して供給できる状態を維持するため老朽化対策等に取り組み、強靱な水道及び工業用水道の構築をめざします。

ア 水道施設改良事業

予算額 6,229,230千円

水道用水を安定的に供給できる施設機能を維持するため、設備更新に合わせた災害時の停電対応などを含め、北中勢及び南勢志摩水道用水供給事業の施設の更新や改良を計画的に行います。

①耐震化	1,447,659千円
・木曽川水管橋架替工事（桑名市、木曾岬町）	他
②老朽化対策	1,908,810千円
・大里浄水場中央監視制御装置ほか改良工事（津市 他）	他
・導水ポンプ所予備発電設備改良工事（多気町）	他
③その他（配水運用の強化など）	2,872,761千円
・大里浄水場沈澱池等築造工事（津市）	他

イ 工業用水道施設改良事業

予算額 6,121,759千円

工業用水を安定的に供給できる施設機能を維持するため、令和2年度には垂坂配水池の供用を開始するとともに、北伊勢工業用水道事業等の施設の更新や改良を計画的に行います。

①耐震化	639,641千円
・山村浄水場耐震化工事（四日市市）	他
②老朽化対策	3,141,179千円
・内径1800耗制水弁取替工事（桑名市）	他
③その他（配水運用の強化など）	2,340,939千円
・垂坂配水池築造工事（四日市市）	他

（2）RDF焼却・発電事業の円滑な終了に向けた取組等 予算額 297,451千円

三重ごみ固形燃料発電所でのRDFの焼却・発電は、令和元年9月17日をもって終了し、同年12月21日には電気事業法における三重ごみ固形燃料発電所を廃止いたしました。

今後は、関係部局等と協議・調整のうえ、関係市町等と連携し、RDF焼却・発電事業の円滑な終了に向けて取り組めます。

ア 電気事業

予算額 297,451千円

関係市町等と連携し、RDF焼却・発電事業の円滑な終了に向けて取り組むとともに、RDF焼却・発電施設の撤去については、周辺環境や工事の安全な実施に十分配慮し、地元自治体、地元住民と協議・調整のうえ、取組を進めていきます。

- ・RDF焼却・発電施設撤去設計等業務委託（桑名市）
- ・RDF焼却・発電施設撤去等工事（桑名市） 他

3 水道事業会計【議案第15号関係】

(1) 予算額

(単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	増減	備考(主な増減理由)
収益的収入	9,689,399	9,746,382	56,983	
営業収益	8,761,138	8,743,740	△17,398	給水収益の減
営業外収益	928,261	1,002,642	74,381	受託工事収益の増
収益的支出	9,462,000	9,431,007	△30,993	
営業費用	8,827,489	8,785,668	△41,821	資産減耗費の減
営業外費用	632,511	643,339	10,828	受託工事費の増
予備費	2,000	2,000	—	
収益的収支差	227,399	315,375	87,976	
純損益(税抜き)	31,102	1,872	△29,230	
資本的収入	2,146,887	3,135,344	988,457	
補助金	374,565	741,196	366,631	他会計補助金の増
出資金	389,402	647,658	258,256	他会計出資金の増
負担金	232,920	596,490	363,570	工事負担金の増
長期貸付金償還金	1,150,000	1,150,000	—	
資本的支出	6,484,457	8,239,419	1,754,962	
建設改良費	4,257,670	6,306,778	2,049,108	中勢水道改良費の増
償還金	2,226,787	1,932,641	△294,146	企業債償還金の減
資本的収支差	△4,337,570	△5,104,075	△766,505	

※令和元年度当初予算額は1号補正後(6月補正後)予算額

(2) 債務負担行為

(単位：千円)

事項	期間	限度額
浄水場浄水施設耐震補強工事に係る契約	R3	20,000
分水施設関連工事等に係る契約	R2～R3	660,334
取水・導水施設詳細設計業務委託に係る契約	R2～R3	143,000
機械設備工事等に係る契約	R2～R3	251,392
電気設備工事等に係る契約	R2～R6	2,550,075
行政事務用機器賃借に係る契約	R3～R7	7,419
企業庁ファイルサーバシステムに係る契約	R3～R7	1,276

(3) 主な重点項目

強靱な水道の構築

予算額 6,229,230千円

①耐震化

1,447,659千円

- ・木曾川水管橋架替工事(桑名市、木曾岬町)

他

②老朽化対策

1,908,810千円

- ・大里浄水場中央監視制御装置ほか改良工事(津市 他)

他

- ・導水ポンプ所予備発電設備改良工事(多気町)

他

③その他(配水運用の強化など)

2,872,761千円

- ・大里浄水場沈澱池等築造工事(津市)

他

4 工業用水道事業会計【議案第16号関係】

(1) 予算額

(単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	増減	備考(主な増減理由)
収益的収入	6,238,086	6,289,207	51,121	
営業収益	5,863,348	5,921,266	57,918	給水収益の増
営業外収益	374,738	367,941	△6,797	長期前受金戻入の減
収益的支出	6,021,560	6,041,543	19,983	
営業費用	5,719,651	5,741,467	21,816	減価償却費の増
営業外費用	299,909	298,076	△1,833	支払利息及び企業債取扱諸費の減
予備費	2,000	2,000	—	
収益的収支差	216,526	247,664	31,138	
純損益(税抜き)	32,879	5,907	△26,972	
資本的収入	5,712,219	4,669,519	△1,042,700	
企業債	5,191,000	4,092,000	△1,099,000	企業債の減
補助金	186,200	88,900	△97,300	国庫補助金の減
出資金	276,009	321,170	45,161	他会計出資金の増
負担金	59,010	167,449	108,439	工事負担金の増
資本的支出	9,286,504	7,476,556	△1,809,948	
建設改良費	8,040,064	6,376,317	△1,663,747	北伊勢工業用水道改良費の減
償還金	1,246,440	1,100,239	△146,201	企業債償還金の減
資本的収支差	△3,574,285	△2,807,037	767,248	

(2) 債務負担行為

(単位：千円)

事項	期間	限度額
電気設備工事等に係る契約	R2～R6	2,219,741
電気設備設置工事に係る契約	R3	34,147
浄水場耐震補強工事に係る契約	R3	770,500
配水管布設工事等に係る契約	R3～R4	1,104,400
水管橋仮設配管工事に係る契約	R3	22,880
行政事務用機器賃借に係る契約	R3～R7	4,572
企業庁ファイルサーバシステムに係る契約	R3～R7	1,276

(3) 主な重点項目

強靱な工業用水道の構築

予算額 6,121,759千円

①耐震化

639,641千円

・山村浄水場耐震化工事(四日市市) 他

②老朽化対策

3,141,179千円

・内径1800耗制水弁取替工事(桑名市) 他

③その他(配水運用の強化など)

2,340,939千円

・垂坂配水池築造工事(四日市市) 他

5 電気事業会計【議案第17号関係】

(1) 予算額

(単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	増減	備考(主な増減理由)
収益的収入	741,550	2,029	△739,521	
営業収益	666,585	—	△666,585	電力料の減
営業外収益	21,294	2,029	△19,265	長期前受金戻入の減
特別利益	53,671	—	△53,671	その他特別利益の減
収益的支出	2,201,960	765,405	△1,436,555	
営業費用	1,942,703	457,715	△1,484,988	RDF発電費の減
営業外費用	12,767	5,690	△7,077	消費税及び地方消費税の減
特別損失	244,490	300,000	55,510	RDF処理委託料清算金の増
予備費	2,000	2,000	—	
収益的収支差	△1,460,410	△763,376	697,034	
純損益(税抜き)	△1,376,140	△739,589	636,551	
資本的収入	500,000	901,988	401,988	
長期貸付金償還金	500,000	901,988	401,988	長期貸付金償還金の増
資本的支出	—	—	—	
資本的収支差	500,000	901,988	401,988	

(2) 債務負担行為

(単位：千円)

事項	期間	限度額
施設撤去等工事に係る契約	R3～R4	1,860,000

(3) 主な重点項目

RDF焼却・発電事業の円滑な終了に向けた取組等 予算額 297,451千円

・RDF焼却・発電施設撤去設計等業務委託(桑名市)

・RDF焼却・発電施設撤去等工事(桑名市) 他

Ⅱ 令和元年度最終補正予算について

1 水道事業会計【議案第85号関係】

(単位：千円)

補正前の額		補正額	補正後の予算額	補正項目		
収益的収支	収入	9,708,454	40,607	9,749,061	給水収益	49,227
					その他営業収益	△ 330
					受取利息	△ 249
					他会計補助金	△ 2,811
					受託工事収益	△ 11,360
					長期前受金戻入	6,103
					雑収益	27
	支出	9,418,042	△ 5,690	9,412,352	原水及び浄水費	△ 57,529
					配水費	△ 39,948
					業務費	7,368
総係費					△ 17	
減価償却費					△ 4,528	
資産減耗費					69,505	
支払利息及び企業債取扱諸費					△ 216	
消費税及び地方消費税					31,000	
受託工事費	△ 11,325					
収益的収支差	290,412	46,297	336,709			
純損益 (税抜き)	81,184	58,247	139,431			
資本的収支	収入	2,177,551	△ 64,721	2,112,830	他会計補助金	△ 5,599
					他会計出資金	△ 7,036
					工事負担金	△ 52,086
	支出	6,134,720	△ 237,986	5,896,734	業務設備及び改良費	△ 8,702
					北勢水道改良費	△ 94,683
中勢水道改良費					△ 94,941	
南勢水道改良費	△ 39,660					
資本的収支差	△ 3,957,169	173,265	△ 3,783,904			

【収益的収支】

(収入) 40,607千円

収入についての補正は40,607千円の増額となり、主な内容は以下のとおりです。

○給水収益 49,227千円
北中勢水道用水供給事業（北勢系木曾川用水系）などの使用水量の増

○受託工事収益 △11,360千円
木曾岬町からの受託工事収益の減

(支出) △5,690千円

支出についての補正は5,690千円の減額となり、主な内容は以下のとおりです。

○原水及び浄水費 △57,529千円
動力費や負担金などの減

○配水費 △39,948千円
委託料や動力費などの減

○資産減耗費 69,505千円
除却対象資産の精査による増

(純損益)

純損益については、収益的収入及び支出の補正により、139,431千円の純利益になる見込みです。

【資本的収支】

(収入) △64,721千円

収入についての補正は64,721千円の減額となり、主な内容は以下のとおりです。

○他会計出資金 △7,036千円
出資対象事業費の減額による減

○工事負担金 △52,086千円
木曾岬町からの内径300耗送水管布設工事などに係る工事負担金の減額による減

(支出) △237,986千円

支出についての補正は237,986千円の減額となり、主な内容は以下のとおりです。

○北勢水道改良費 △94,683千円
内径300耗送水管布設工事などの計画変更等による減

○中勢水道改良費 △94,941千円
高野浄水場ろ過池電動弁取替工事などの計画変更等による減

2 工業用水道事業会計【議案第86号関係】

(単位：千円)

		補正前の額	補正額	補正後の予算額	補正項目	
収益的収支	収入	6,233,910	17,412	6,251,322	給水収益	11,169
					その他営業収益	8,437
					受取利息	△ 375
					他会計補助金	30
					受託工事収益	△ 20
					長期前受金戻入	△ 1,859
					雑収益	30
	支出	5,893,072	△ 49,104	5,843,968	原水及び浄水費	△ 38,081
					配水費	△ 18,254
					業務費	3,886
総係費					△ 1,840	
減価償却費					5,241	
資産減耗費					54	
支払利息及び企業債取扱諸費					△ 90	
受託工事費	△ 20					
収益的収支差	340,838	66,516	407,354			
純損益 (税抜き)	148,472	59,523	207,995			
資本的収支	収入	5,600,920	△ 479,010	5,121,910	企業債	△ 420,000
					工事負担金	△ 59,010
	支出	9,108,955	△ 482,776	8,626,179	業務設備及び改良費	△ 3,225
					北伊勢工業用水道改良費	△ 414,711
					松阪工業用水道改良費	△ 59,963
中伊勢工業用水道改良費	△ 4,877					
資本的収支差	△ 3,508,035	3,766	△ 3,504,269			

【収益的収支】

(収 入) **17,412千円**

収入についての補正は17,412千円の増額となり、主な内容は以下のとおりです。

○給水収益 11,169千円

北伊勢工業用水道事業などの超過水量の増加による増

○その他営業収益 8,437千円

工業用水道施設使用料などの増

(支 出) **△49,104千円**

支出についての補正は49,104千円の減額となり、主な内容は以下のとおりです。

○原水及び浄水費 △38,081千円

修繕費や動力費などの減

○配水費 △18,254千円

委託料や修繕費などの減

○減価償却費 5,241千円

償却対象資産の精査による増

(純損益)

純損益については、収益的収入及び支出の補正により、207,995千円の純利益になる見込みです。

【資本的収支】

(収 入) **△479,010千円**

収入についての補正は479,010千円の減額となり、内容は以下のとおりです。

○企業債 △420,000千円

北伊勢工業用水道改良事業などにおける起債対象事業費の減額による減

○工事負担金 △59,010千円

四日市市からの配水管推進工事などに係る工事負担金の減額による減

(支 出) **△482,776千円**

支出についての補正は482,776千円の減額となり、主な内容は以下のとおりです。

○北伊勢工業用水道改良費 △414,711千円

内径 800 耗配水管分岐及び布設工事などの計画変更等による減

○松阪工業用水道改良費 △59,963千円

新屋敷取水所改良基本検討業務委託などの契約額の確定等による減

3 電気事業会計【議案第87号関係】

(単位：千円)

		補正前の額	補正額	補正後の予算額	補正項目	
収益的 収支	収入	738,331	△ 10,209	728,122	電力料	△ 9,897
					受取利息	△ 297
					他会計補助金	△ 15
	支出	1,879,378	△ 114,343	1,765,035	RDF発電費	△ 114,729
					一般管理費	525
					支払利息及び企業債取扱諸費	△ 139
収益的収支差	△ 1,141,047	104,134	△ 1,036,913			
純損益 (税抜き)	△ 1,080,555	96,100	△ 984,455			
資本的 収支	収入	500,000	-	500,000		
	支出	-	-	-		
	資本的収支差	500,000	-	500,000		

【収益的収支】

(収 入) △10, 209千円

収入についての補正は10, 209千円の減額となり、主な内容は以下のとおりです。

○電力料 △9, 897千円
売電実績による電力料収入の減

○受取利息 △297千円
預金利息の減

(支 出) △114, 343千円

支出についての補正は114, 343千円の減額となり、主な内容は以下のとおりです。

○R D F 発電費 △114, 729千円
委託料や動力費などの減

○一般管理費 525千円
人件費などの増

(純損益)

純損益については、収益的収入及び支出の補正により、984, 455千円の純損失になる見込みです。

Ⅲ 「三重県水道供給条例の一部を改正する条例案」について

【議案第56号関係】

1 改正理由

水道事業の円滑な維持運営を図るため、基本料金の料率を改定する必要があることから、「三重県水道供給条例」の一部を改正します。

2 改正内容

(単位：円/m³・月)

施設名			基本料金の料率			備考
			改正前	改正後	増減	
北中勢水道	中勢	雲出川水系	980	960	▲20	平成22年度から雲出川水系と長良川水系の料金を統一
		長良川水系				
	北勢	長良川水系 (亀山市の区域以外の区域に係るもの)	2,300	2,230	▲70	
		長良川水系 (亀山市の区域に係るもの)	2,490	2,430	▲60	

3 施行期日

令和2年4月1日から施行します。

【参考】

1 改正による給水収益の見込み

今回の料金改定により、令和元年度当初予算において比較した場合、給水収益は、税抜き額で年間約4千8百万円(△0.6%)の減少となる見込みです。

2 料金の算定期間

令和2年度から令和6年度までの5年間

3 その他の料金

① その他の事業の基本料金は、下表のとおり現行料金を維持します。

(単位：円/m³・月)

施設名			基本料金の料率	備考
北中勢水道	北勢	木曾川用水系	700	現行料金を維持
		三重用水系	1,710	現行料金を維持
南勢志摩水道			780	現行料金を維持

② 使用料金は、全水系とも、39円/m³を維持します。

③ 超過料金は、全水系とも、180円/m³を維持します。